



生活だより

苫小牧市立拓勇小学校
生徒指導部 No. 7
令和6年12月20日

ルールを守って充実した冬休みを！

もう少しで冬休みが始まります。生活目標（学習、生活、お手伝い）をしっかりと立て、生活ルールを守り、毎日を健康で安全に過ごし、冬休みが楽しく充実したものになるように願っています。

冬休みも基本的な生活ルールは変わりません。今年度配布した「みんなのきまり（拓勇小学校のきまり）」、「児童・生徒生活のきまり（市内共通のきまり）」を、冬休みに入る前にお子さんと一緒に目を通し、ルールの確認をお願いします。

冬休みも帰宅時刻は、午後4時です。帰宅時刻とは、家に戻っている時刻です。遅くまで遊んでいると、不審者と遭遇してしまう危険性も高まります。帰宅時刻ぎりぎりではなく、時間に余裕を持って帰るようにしてほしいと思います。

今年度も、苫小牧市内では不審者の事案が、多数報告されています。子どもだけで外出する際は、できるだけ人目が多い道を通る、複数で遊ぶなど、被害に遭わないための方法手段などについても、普段から話題に出していただければと思います。

なお、不審者が出た場合は、まず、警察へ（110又は苫小牧警察署 35-0110）連絡の上、学校（57-2800）にも連絡をお願いします。



～冬休み中に特に気をつけていただきたいこと～

◎子どもたちだけでゲームコーナーでは遊べません。

少年指導センターの方がイオン等で、子どもに声をかけることが多い事例の一つが、ゲームセンターに子どもたちだけにいることだそうです。苫小牧市の「児童・生徒生活のきまり」では、以下のようになっています。



保護者又は保護者の依頼を得た責任のもてる成人と同伴のこと。冬休みは、子どもたちが普段よりお金を持っていることを、悪いことをする人たちはよく知っています。きまりを守らず、子どもたちだけでゲームを楽しんでいると、トラブルに巻き込まれる可能性が高まります。「ちょっとくらい。同じ建物内にいるから…。」という気持ちで、離れてしまうことがあるかと思いますが、そういった時にこそ、子どもたちがトラブルに巻き込まれてしまうものです。子どもたちの安全のために決められているルールです。ゲームコーナーで遊ばせる際は、必ず一緒に時間を過ごしていただきたいと思います。子どもだけの場合は、少年指導センターの方々から子どもたちに声がかかります。

◎お金の貸し借り、おごる、おごられるは、絶対にしない。

冬休みは、お年玉などをもらうことにより、普段よりお金をもっているため、「お金の貸し借り、おごる、おごられる。」等の話が聞こえてくることがあります。

お金の貸し借りはもちろん、おごる、おごられるの行為は、時に「おごられる。」「家からお金を持ち出すように要求される。」「万引きを強要される。」など、犯罪行為に発展することもあります。

子どもたちのよりよい成長のためにも、お年玉やお小遣いの使い方について、把握していただきたいと思います。

◎冬の道路や歩道は、危険がいっぱいです。

毎年この時期から大雪が降ることが多く、除雪の雪山などでドライバーの視界もせまくなります。路面も凍結しています。凍った道路では車もなかなか止まらず危険です。必ず信号や横断歩道のあるところを渡りましょう。道路や歩道での雪合戦やそり遊び、また除雪で積まれた雪山での遊びは、非常に危険なので絶対にさせないようにしてください。軒下の屋根からの落雪も危険です。よく軒下でつららをとって遊んでいるところを見かけます。十分気を付けてください。

手袋、お願いします。

子どもたちの手袋着用をお願いします。特に最近路面凍結している道路が多くなり、転んでしまったという話を子どもたちからもよく聞きます。両手をポケットに入れていると、いざという時に大けがにもつながります。地域の交通安全見守りの方々からも同様の意見が多数出されています。よろしくお願いします。

1 1月～2月の帰宅時刻は、午後4時です。

*生活だよりはメール配信でお知らせしています。子どもたちには、担任から生活だよりに掲載されている内容を指導しています。